

東吾妻町の排水処理施設から排出される汚泥中の放射性物質について ～平成29年度分～

平成23年6月16日、原子力災害対策本部から「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方」が示され、その中で「原料汚泥中の放射性セシウム濃度が200Bq/kg以下の場合については、汚泥肥料の原料として使用できる」という基準が定められました。

このため、公共下水道・農業集落排水の各処理場で汚泥中のセシウム濃度の測定を行いましたが、結果は公共下水道では基準値以下であり、今までどおり産業廃棄物として業者に回収してもらっています。

また、平成25年9月18日付け農林水産省、消費・安全局からの通知「放射性セシウムを含む汚泥のサンプリング等に係る技術的事項について」より、脱水汚泥の測定を、4～6月、9～11月において2回連続で60Bq/kg以下であればそれより後の測定の必要性は低いと判断し、異常時（気象条件等により土壌などを含む濁水が通常より多量に流入したと考えられる場合）のみに測定する事としても良くなりました。

昨年度の計測結果は、公共下水道・農業集落排水共に常時60Bq/kg以下でしたので、今年度は春の雪解け増水期と、台風の時期のみ測定を行います。

農業集落排水では、通常は肥料化して配布を行っていましたが、現在配布を中止しています。詳しくは次のページをご覧ください。

検査結果一覧（脱水汚泥）

吾妻浄化センター （公共下水道）	含水率 85%換算		単位：Bq/kg		
	採取日	ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム計
	5月11日	不検出	不検出	不検出	不検出

岩下・矢倉処理場 （農業集落排水）	含水率 85%換算		単位：Bq/kg		
	採取日	セシウム134	セシウム137	セシウム計	
	5月11日	不検出	不検出	不検出	

箱島・岡崎処理場 （農業集落排水）	含水率 85%換算		単位：Bq/kg		
	採取日	セシウム134	セシウム137	セシウム計	
	5月10日	不検出	不検出	不検出	

※ヨウ素は半減期が1週間程度と短いため、業者に回収を依頼している公共下水道では問題になりますが、肥料化してから配布までの期間が長い農業集落排水では問題にならないため測定していません。

東吾妻町農業集落排水処理施設で生産される汚泥肥料中の放射性物質について ～平成29年度分～

箱島・岡崎地区、岩下・矢倉地区共に、**汚泥肥料中**の放射性セシウム含有量はかなり減少しましたが、汚泥肥料の配布は現在のところ見合わせています。

検査結果一覧（**汚泥肥料**）

単位：Bq/kg

岩下・矢倉処理場	採取日	セシウム134	セシウム137	セシウム計
	4月6日	不検出	28	28
	5月11日	不検出	35	35
	6月8日	不検出	31	31
	7月6日	不検出	45	45
	8月3日	不検出	51	51

単位：Bq/kg

箱島・岡崎処理場	採取日	セシウム134	セシウム137	セシウム計
	4月5日	不検出	27	27
	5月10日	不検出	36	36
	6月7日	不検出	26	26
	7月5日	不検出	40	40
	8月2日	不検出	28	28

※汚泥肥料は、脱水汚泥をさらに乾燥させて粒状にするため、水分が飛んでセシウム濃度も5～10倍に濃縮されます。このため、脱水汚泥よりも高い数値が出ます。